

服部譲二（指揮）

1969年東京生まれ。8歳で家族と共にウィーンに移り住む。ヴァイオリンをR. キュッヒルのほか、M. シュヴァルベ、V. スピヴァコフに師事。20歳でイギリスのメニューイン国際ヴァイオリン・コンクールで第1位。第3回新日鉄音楽賞“フレッシュ・アーティスト”を受賞。

2002年に第1回マゼール／ヴィラー指揮者コンクールにおいて入賞。これを機に、指揮者として本格的に始動。04年よりウィーン室内管弦楽団の正指揮者に就任。最近ではウィーン交響楽団、フィルハーモニア管、読響、新日フィルなどを指揮している。また、日本の若手音楽家から成る「東京アンサンブル」を結成。07年にはフィルハーモニア管、スロヴァキア・フィルなどを指揮する予定。

ウィーン室内歌劇場のモーツァルト「偽の女庭師」でオペラ・デビュー。05年には新国立劇場の小劇場でレオンカヴァッロ「ザザ」、06年には大劇場で「魔笛」を指揮。07年秋よりドイツ・エアフルト歌劇場の第1カペルマイスターに就任。

<http://www.jojihattori.com/>

<2007年4月現在>